

## 市立宇和島病院

〒798-8510 愛媛県宇和島市御殿町1番1号

【TEL】0895-25-1111 【FAX】0895-25-5334

https://www.uwajima-mh.jp

## 応募連絡先

担当部署：総務管理課 臨床研修係 担当者：課長補佐兼臨床研修係長 笠松 美和

✉ rinsho-hp@city.uwajima.lg.jp

## 初期研修医が対応する症例数は多彩かつ豊富

当院は、愛媛県南予地域の拠点病院としての役割に加え「南予救命救急センター(併設)」や「災害拠点病院」、「地域がん診療連携拠点病院」としての役割も担っています。当院の医療圏は、本来であれば「宇和島医療圏」ですが、同県の「八幡浜・大洲医療圏」や高知県の「幡多医療圏」の一部からも救急患者が搬送されるなど、当院がカバーする医療圏は広域にわたっているため、研修医が対応する症例数は多彩かつ豊富な状況です。また、ヘリポートや免震構造を設置するなど、災害拠点病院として相応しい機能を備えています。

## ● 病院データ

病床数 435床	医師数(研修医含む) 102人	初期研修医数 12人	指導医数 36人	外来患者数(1日平均) 798人
入院患者数(1日平均) 331人	救急外来患者数(年間件数) 10,634人	救急車搬送患者数(年間件数) 3,185人	年間病理解剖数 4件	病床稼働率 76%

【開設年】明治43年

【開設者】宇和島市長 岡原 文彰

【院長】善家 喜一郎

【標榜科】内科/消化器内科/胃腸内科/肝臓内科/循環器内科/呼吸器内科/血液内科/糖尿病内科/内分泌内科/脳神経内科/外科/消化器外科/心臓血管外科/呼吸器外科/肝臓・胆のう・膵臓外科/乳腺外科/肛門外科/整形外科/リウマチ外科/脳神経外科/腫瘍・血管外科/小児科/産婦人科/眼科/耳鼻いんこう科/頭頸部外科/皮膚科/形成外科/泌尿器科/歯科口腔外科/麻酔科/放射線科/臨床検査科/病理診断科/リハビリテーション科



英会話研修



研修医集合写真



【JR】JR宇和島駅から徒歩約20分  
【バス】JR宇和島駅から市内バス約8分「市立病院前」下車  
【車】JR宇和島駅からタクシー約5分



## ● プログラムの目的・特徴

## 目的

幅広いコモンディーズ、プライマリ・ケアに対応し得る基本的な知識及び技術の修得に加え、当院の特徴である救急救命医療及び地域医療支援という急性期疾患の初期治療を確実に実行できる知識と技術を修得する。

## 特徴

「専門領域に進んだ後も患者をトータルに診ることのできる医師を育てる」という研修の基本理念のもと、指導医も日々研鑽を積みながら研修医の指導を行っています。

基幹型定員も1年間に6名までとしており、1年次にはできるだけ多くの症例を経験させるため、内科及び内科救急の研修で、上級医・指導医のバックアップを受けながら救急患者のファーストタッチを研修医が行うことで、多くの症例を学びます。また、2020年度から初期臨床研修制度が改正されたことに伴い、外科、小児科、産婦人科といった必修科目以外にも麻酔科を必修とするなど、救急部門の研修も充実しています。

実践だけでなく、各種学会への積極的な参加や定期的な院内研修会や講義も行って、「M&Mセミナー」、「英文抄読会」、「救命救急カンファレンス」、「心電図カンファレンス」、「レジデントノート勉強会」など、多くの研修会を設けているため、研修医にとっては、各科の指導医や上級医と質疑応答を重ねることで、短期間で知識向上に繋がっています。

## ● 研修スケジュール

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内科								外科	小児科	産婦人科	精神科
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	選択科			地域医療			選択科					

## 必修分野

内科	24~32週	地域医療	5週以上
救急	2週以上	精神科	4週以上
外科	4週以上	麻酔科	4週以上
小児科	4週以上		
産婦人科	4週以上		

## その他の分野及び選択研修など

1. 上表プログラムは、研修期間を示したものであり、研修時期は各自異なる。
2. 研修は、原則4週を1ブロックとし、研修単位は1ブロック以上で行う。
3. 地域医療研修は、当院基幹型研修医が2年次に行う。
4. 当院基幹型研修医は、2年次に外部医療機関(愛媛大学医学部附属病院)にて選択科を研修可。
5. 一般外来研修は、内科・外科・小児科・地域医療において並行研修を行う。
6. 救急研修(12週以上)は、必修の麻酔科4週と宿直を合わせて行う。

## 【市立宇和島病院】

整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、眼科、泌尿器科、放射線科、耳鼻いんこう科、臨床検査科、病理診断科  
【外部医療機関(愛媛大学医学部附属病院)】

内科、救急科、外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科、皮膚科、眼科、形成外科、耳鼻咽喉科、放射線科、病理診断科、リハビリテーション科、総合診療科、臨床検査科

## ● 募集要項

【予定人数】6名

【応募締切】1回目：令和5年7月21日(金) 2回目：令和5年8月10日(木)

【選考試験】1回目：令和5年8月6日(日) 2回目：令和5年8月26日(土)

【応募書類】①採用申込書 ②履歴書 ③卒業(見込)証明書、成績証明書 ④健康診断書

【研修手当】1年次：約460万円/年 2年次：約540万円/年

※賞与込、手当別

時間外手当：あり

宿日直手当：当院規程により支給あり

通勤手当：当院規程により支給あり

住宅手当：上限4万円

【学 会 等】上限22万円/年の旅費等の支援あり

【宿 舎】なし

【院内保育所】あり

【休 暇】土曜日・日曜日・祝祭日 夏季休暇3日、年末年始休暇あり  
年次有給休暇12日/年(次年度繰越あり)

その他特別休暇あり

【保 険】健康保険、厚生年金 雇用保険 労災保険

医師賠償保険(個人加入・任意)など

【そ の 他】賞与：年2回支給 1年次40万円/年、2年次60万円/年

## メッセージ

## ○ 院長



院長  
善家 喜一郎  
(愛媛大卒)

内科系、外科系、ICUの3列で、医師全員の協力の下、24時間365日体制、かつ一次救急から三次救急まですべてに対応しているため、多彩な疾患を経験できます。また、当院の長い歴史と医療に対する姿勢が地域住民に受け入れられていることから、研修医も一人の医師として受け入れてもらっています。当院で初期研修を終えた先生も多くが全国各地の病院で活躍しています。まず、当院を見学してみませんか。

## ○ 指導医・プログラム責任者



副院長兼内科統括科長兼  
アカデミックセンター長  
大木元 明義  
(愛媛大卒)

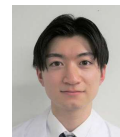
当院は、南予救命救急センターを併設する南予の基幹病院で、24時間・365日体制で高度専門医療に対応し、初期研修でほとんどの症例に携わることができます。

2020年度から開始された新研修プログラムでは、必修の各診療科で専門領域特有の疾患をそれぞれ経験し、救急疾患は当番制の日勤救急及びシフト制の夜間救急で一次から三次救急まで相当数の経験ができます。

指導体制も国内外の主要研究機関・病院に留学経験のある指導医が多く、国際的感覚・視野をもった医師の育成にも力を入れており、また、患者さんを全身的に診ることができる医師を育てたいと考えています。

皆さん、当院で新しい令和の時代とともに研修を始めてみませんか。

## ○ 研修医



2年次  
藤尾 公貴  
(愛媛大卒)

何もわからない状態から始まった研修医生活でしたが、今では事務的な仕事には慣れてきました。しかし、日常診療への不勉強さを痛感する毎日を送っております。私は学生時代から内科志望であり、救急をしっかりと勉強しておきたいという思いで当院を選びました。おそらく同期の中でも最も救急日直に入ったのではないのでしょうか。そのおかげか、救急で焦ることはありませんでした。

先日大学時代の同期と会う機会がありましたが、関西圏の同期に劣っているとは全く思いませんでした。田舎である当院ですが、自分のやる気次第でもハイパーに(健康第一)することは可能です。1年経った今、当院を選んだ後悔は全くないです。

## 【ハワイ(HULA)研修】

宇和島の姉妹都市であるホノルル市との国際交流事業として、ハワイ大学医学部(John A. Burns School of Medicine)と提携し、Honolulu and Uwajima medical Learning Alliance (HULA) 研修として2020年2月に2年目の基幹型研修医全員を2週間ホノルルに派遣(費用は病院負担)しました。2023年2月にはCOVID-19のため休止していたHULA研修を再開しています。研修内容は、救急医療シミュレーショントレーニング、医療倫理、教育方法などの研修とKuakini医療センターの見学、ハワイ大学の学生・医師との交流です。

